

平成29年度第2回子ども・子育て会議 質問一覧表

※回答方法欄

会議：質問を会議で紹介、回答したもの

質問一覧表：会議では、時間の関係で紹介できなかったもの

※質問番号の（ ）内の数字は第1回の質問番号

質問番号	資料番号	質問	回答	回答方法
1	1-1	アスク薬王寺保育園の経営母体の同じ他園では、0歳児からの保育を行っています。今回の新規園で、0歳児の定員を設けない理由を教えてくださいませんか。	待機児童は1歳児が一番多く、1歳児枠の確保は重要な課題となっています。また、(仮称)アスク薬王寺保育園は、周辺の地域型保育施設の連携施設として、3歳児の受入れ枠を確保するために、3歳児からの定員を増やす必要があります。これらを踏まえ、施設規模から総合的に判断し、1歳児園としました。	会議
2	1-2	ほっぺるランド北新宿の経営母体の同じ他園では、0歳児からの保育を行っています。今回の新規園で、0歳児の定員を設けない理由を教えてくださいませんか。	待機児童は1歳児が一番多く、1歳児枠の確保は重要な課題となっています。また、(仮称)ほっぺるランド北新宿保育園は、系列園であるほっぺるランド新大久保からの接続を考え、3歳児からの受入れ枠を確保する必要があります。これらを踏まえ、施設規模から総合的に判断し、1歳児園としました。	会議
3 (8)		「呼吸チェックは定期的に行われていた」に関し、具体的にどのように行っていたのか知りたい。タイマーを使い0歳児は5分ごと、1歳児は10分に一度きちんと行っていたのか。また、その記録はどのようなものだったのか、実際の記録の複写を会議の場で共有し、保育をご専門とされている委員長、副委員長の意見をいただくべきと考える。子どもの場合心肺停止しても30分以内に救命処置を行えば、心拍は再開する事が多いと聴いている。その後、臓器損傷で回復せず数日後に亡くなる事はあるそうだが、その日のうちに亡くなったという事は、かなりの時間心肺停止状態を放置されていたとも推察できる。この点は、現在調査段階であり、事業者側に過失があったという結果になるかもしれない中、それでもその事業者を敢えて選ぶのはどういった理由からなのか、到底理解出来ない。(先日見学に行ったある認可保育園では「呼吸チェック実施している」と言うものの、0歳で30分以上の間隔でのチェックであったり、その記録もずさんなものであった。一方、他の園ではタイマーを使い、頭の向きも合わせて記録するなど、とても丁寧に行っていた。「実施している」の一言のばらつきは大きいものであり、回答はその具体性に欠ける)	区職員2名で調査に入り、チェック表で確認するとともに、呼吸チェックを行っている様子を確認しました。チェック表にはそのときの体勢が矢印で記入してありましたが、その際に体勢を変えた場合はそれがわかるよう丸印などで記載することを助言しました。	会議

質問 番号	資料 番号	質 問	回 答	回答方法
4 (14)		<p>先日おとめ山公園に保育参観で行った所、近隣園3つほどがお散歩に来ていて、子どもで溢れかえていた。他園園児の年長クラスが来ており激しく走り回っていたので、私の子がいる2歳児クラスは急遽遊び場所を変更する場面も見られた。</p> <p>おとめ山公園はまだ広いので良いが、街中の狭い公園はもっと悲惨なことになっているのではないだろうか。</p> <p>また、今年は雨の日も多く、ホールを持っていない保育園のお子さんは窮屈な日々を過ごしているものと考えられる。</p> <p>小中学校の体育館は授業で使っている事もあり、日中借りる事は出来ないであろう事は容易に想像できる事から、地域センターの大きめのホールや、児童館ホールを日中は保育園が優先的に利用できるようにするなど、何か工夫は講じてはどうかと考えているが、その点何か検討はされているのか。</p> <p>(参考として、保育園を考える親の会出版『100都市保育力充実度チェック』によると新宿区の認可保育園の園庭保有率は43.2%、調査対象100都市の中でワースト6位。平均は76.1%。)</p>	<p>既に、保育園は、地域センターや児童館を、発表会や、職員研修会、説明会の会場などとして、他の地域団体同様に、所定の手続きを経て利用していることを把握しています。</p> <p>ご提案の、優先利用となれば、他の団体の利用を制限することに繋がりがかねないと考えます。例えば児童館は、未就園児親子の居場所としての重要な役割を担っています。</p> <p>地域センターや児童館は公園と同様に、保育園の近隣の社会資源のひとつとして、子どもの成長や発達を促すにあたり、いかに活用するかを個別に判断するものであり、優先的な利用は現時点では考えていません。</p>	会議
5		<p>新宿区も世田谷区にならい、保育園・学童の保育の質を維持するために「保育の質ガイドライン」の作成を行うべきでは無いのか。</p> <p>また、世田谷区は保育園のみ作成しているが、その世田谷区より一步先を行く新宿区は「学童の拡充」を謳っているのだから、その学童保育の質に関するガイドラインの作成をすべきと考える。</p> <p>(世田谷区ガイドラインは下記リンクより)</p> <p>http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/103/129/1812/d00138520_d/fil/setagayakuhoikunoshitsuga.pdf</p>	<p>【保育園】</p> <p>区内の公立私立保育園問わず、一定の保育水準を保ち、更なる向上の起点となるよう、国により保育の基本的事項として定められた、保育所保育指針に基づいて、保育サービスが提供されているため、ガイドラインの作成は、現時点では考えていません。</p> <p>【学童クラブ】</p> <p>国の放課後児童クラブ運営指針に基づき、業務要求水準書や新宿区学童クラブ指導要領を作成しています。そのため、ガイドラインを別途作成することは考えていません。</p>	会議
6		<p>学童クラブの巡回指導は形骸化し、実質機能していない。</p> <p>学童保育の質を担保するためにも、認可保育園の調査確認項目と項目を合わせるべきでは無いのか。(特に保育の状況に関して、学童クラブの項目は設定されておらず不安を感じる。)</p>	<p>学童クラブと保育園では、求められる保育内容が異なるものと考えています。区の業務要求水準書や学童クラブ指導要領に基づき、環境整備や児童の指導、おやつなどについて、巡回担当者が月1回以上の履行確認をするとともに、より良い運営に向けて、受託事業者の現場の職員及び本部担当者と協議を行っています。</p>	会議

質問 番号	資料 番号	質 問	回 答	回答方法
7		<p>子どもの主体性を引き出す保育が求められているが、新宿区として「子どもの主体性とは」をどのように捉えているのか。</p> <p>また、主体性を引き出す保育は保育園だけでなく学童でも求められているが、どのように指導しているのか。</p> <p>具体的事例と共に教えて欲しい。</p> <p>(時間が許すのであれば、保育をご専門とされている委員長・副委員長のお考えも伺いたいです。)</p>	<p>【保育園】</p> <p>国の保育所保育指針の解説の中にあるとおり、「子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成しながら、時には励まし、必要な助言を行う。遊びや活動の展開に応じて環境を再構成しながら、保育士等も一人一人の子どもと楽しさを共有することによって、子どもの主体的な活動は更に豊かな広がりをもつものとなっていく。」</p> <p>「子どもの成長過程を保育士等が見守り、受け止めることによって、子どもの自己肯定感が育まれていくことが重要である。保育士等が主体としてその子どもを認め、肯定する気持ちを言葉や態度で子どもに伝えることにより、子どもは自分への自信を獲得していくものである。」として保育士等の積極的なかわりにより、自主性を引き出すものと捉えています。</p> <p>また、「子どもが自分でしようとする姿に、言葉をかけたり手を添えたりすることもあれば、何も言わずにただ近くにおいて、子どもが不安そうに振り向いた時には目を見て頷くようにするということもある。また、子どもにとって居心地がよく、生活の見通しが持ちやすいように環境を整えたり、集中して遊び込めるように時間のゆとりをとるようにしたりするなど、子ども自身に直接関わるのではなく、場や生活の流れを調整することを通して子ども自身による活動の展開を促す援助もある。」として環境をとおしても、引き出すものと捉えています。</p> <p>【学童クラブ】</p> <p>国の放課後児童クラブ運営指針では、「子どもの発達過程を踏まえ、次に示す事項に配慮して子ども一人ひとりの心身の状態を把握しながら、集団の中で子ども同士の関わりを大切にして育成支援を行うことが求められる。」「子どもが放課後児童クラブでの生活に見通しを持てるように、育成支援の目標や計画を作成し、保護者と共通の理解を得られるようにする。」と定めています。</p> <p>区では、この放課後児童クラブ運営指針に基づき、業務要求水準書や新宿区学童クラブ指導要領を定め、それに則った指導をしています。</p> <p>具体的には、行事を児童の発案や進行により実施したりするほか、児童自ら考え、行動の切り替えを行えるよう、児童の状況に合わせた声掛け等を行っています。また、学童クラブの活動を常に優先するというのではなく、児童の心身の状態を把握しながら、やりたい活動に参加できるように指導しています。</p>	会議

質問番号	資料番号	質 問	回 答	回答方法
8	4	<p>保育施設定員の推移で、平成30年から31年への定員増加が、それ以前と比較して少なくなっています。</p> <p>これは、今後の検討により増える見込みなのか、一定の需要を満たしたので大幅な定員増は不要との判断なのか、どちらでしょうか。</p>	<p>待機児童数は、平成28年度は58名、平成29年度は27名まで減少しました。今後の整備については、子ども・子育て支援事業計画の見直しをする中で決定していきます。平成30年度から平成31年度の増加分は、大規模開発計画に伴う保育所の設置など、長期的計画の中で決定しているもののみを算入しています。</p>	会議
9 (6)		<p>区立幼稚園の預かり保育の利用者人数が大変少ないとのことだが、待機児童問題が解決出来ていない中納得のいくものではない。</p> <p>預かり時間はきちんと私立幼稚園並の保護者ニーズに即した時間なのか。</p> <p>また、保育園の一時保育も待機児童の影響で、利用するにはコンサートのチケット申し込み並の激戦と聞いている。</p> <p>幼稚園でも一時保育事業を充実させるべきなのではないか。</p>	<p>待機児童は殆どが0～2歳児であることから、幼稚園の預かり保育が待機児童解消に結びつく度は低いと考えられますが、幼稚園としても需要の多い3歳児の定員を平成28年度に区立幼稚園で93人増員しました。平成29年度にも私立幼稚園で増員しています。</p> <p>なお、新宿区内の私立幼稚園の預かり保育は、4時まで2園、5時まで4園、5時を超える園3園となっており、区立幼稚園の4時半までの実施時間が短すぎるとは考えていません。</p> <p>また、一時保育も0～2歳児の利用者が主となっており、保育室の確保、食事の提供、人員配置などの課題がありますので実施は考えていません。</p>	会議
10 (7)		<p>定員割れしている中、預かり保育も行おうとしないのであれば、幼稚園を廃園し、子育て支援施設として形を変え、児童館併設学童を作った方が地域のニーズに即しているのではないか。</p> <p>落合地区は待機児童数が多いので保育園を拡充させていると聞いている。</p> <p>その地域にある幼稚園で定員割れしている上に、預かり保育を実施しない理由になっていない。</p>	<p>預かり保育の実施は、地域の子育て支援として重要な役割を持つものですが、幼稚園は保育園、子ども園等とともに、新宿区の就学前児童の幼児教育・保育を担う施設として、依然として大変重要であると考えています。</p> <p>なお、区立幼稚園では、入園希望者が一定人数を下回った場合は、学級の編成を行わない扱いとしています。</p>	会議
11 (16)		<p>定員を定めていなくても、学年別の試算は出しているはずである。</p> <p>そういった細かな試算をした上で定員を設定しているはずなので、その元データを提示してほしい。</p>	<p>学童クラブの定員を定める際には、学年別の考え方は取っていません。学童クラブ室の面積を1.65㎡で割りかえて算定しています。</p>	質問 一覧表
12 (17)		<p>学童クラブの確保方策の具体的な内容を教えて欲しい。</p> <p>また、実際に現在定員拡充を検討している学童クラブはどのように確保方策を講じているのか。</p> <p>また、この先の拡充予定候補学童クラブについても教えて欲しい。</p>	<p>定員を大きく上回る学童クラブについては、児童館スペースの活用による専用スペースの拡大を進めていきます。小学校内学童クラブについても、新たなスペースを確保できないか、教育委員会と協議していきます。</p> <p>現段階では定員拡充は予定していませんが、申込状況により、定員を拡充することも検討していきます。</p>	質問 一覧表

質問 番号	資料 番号	質 問	回 答	回答方法																									
13 (18)		<p>保育園の定員はH21年4074名、H29年7056名で対H21年度173%、H31年7801名で対H21年度で191%の増である。</p> <p>学童の定員はH21年1292名、H29年1485名で対H21年度で115%、H31年1479名で対H21年度で114%と減少する試算はどう考えても納得できるものではない。</p> <table border="1" data-bbox="271 472 1218 799"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年定員</th> <th>H29年定員</th> <th>H31年定員</th> <th>H31年/H29年 ×100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園</td> <td>4074名</td> <td>7056名</td> <td>7801名</td> <td>110.5%</td> </tr> <tr> <td>学童</td> <td>1292名</td> <td>1485名</td> <td>1479名</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>学童利用者</td> <td>1277名</td> <td>1671名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学童利用充足率</td> <td>98.8%</td> <td>112.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>H29年時点で定員を大幅に超え、子ども達は狭い空間に詰め込まれている事が数値で見ても明らかである。(保育園の2歳以上の面積基準は1.98㎡/人。対して学童は明確な算定基準も無い中1.65㎡/人である)</p> <p>保育園を利用していたお子さんはほとんど学童を利用する。H29年の保育園定員を単純に6学年で割った数値は1176名、H31年度では1300名である。この数値を年長クラスの定員と考えると学童の定員はほとんどが1年生で充足してしまう事は明白である(修学に合わせ就労する保護者も居る為、実際の数値はこれより多くなると予測できる)。</p> <p>では、なぜ学童の定員はマイナスで設定されているのか。</p> <p>かなり単純な計算式と思われるので、意図的に定員をマイナスに設定していると考えられる。</p> <p>その具体的な理由を教えて欲しい。</p>		H21年定員	H29年定員	H31年定員	H31年/H29年 ×100	保育園	4074名	7056名	7801名	110.5%	学童	1292名	1485名	1479名	99.6%	学童利用者	1277名	1671名			学童利用充足率	98.8%	112.5%			<p>平成25年度から平成28年度の保育園等の5歳児の学童クラブの登録率は平均60%強となっています。現在の子ども・子育て支援事業計画の見直しの際の確保数は1,478名としていましたが、定員拡充した北山伏学童クラブの専用スペースを改めて算出し、定員を1,485名としました。平成31年度に定員を縮小することは考えていません。</p>	質問 一覧表
	H21年定員	H29年定員	H31年定員	H31年/H29年 ×100																									
保育園	4074名	7056名	7801名	110.5%																									
学童	1292名	1485名	1479名	99.6%																									
学童利用者	1277名	1671名																											
学童利用充足率	98.8%	112.5%																											
14 (19)		<p>ひろばプラス利用者で学童を利用したくても利用できず、仕方なくひろばプラスを利用している人数はもちろん集計を行なっているはずだと思うが、その数値を教えて欲しい。</p>	<p>平成29年4月1日現在の区立学童クラブ待機者40名の内、ひろばプラス登録者は、10名でした。</p>	質問 一覧表																									

質問 番号	資料 番号	質 問	回 答	回答方法
15 (26)		「必要に応じて空き教室の新たな借用を検討していきます」に関し、今現在検討進めている学童クラブはどこか具体的に教えて欲しい。	現在、複数の学校で検討しています。空き教室の新たな借用が決定次第、公表します。	質問 一覧表
16 (29)		運営協議会では学童クラブのスペースの確保についても話し合いがおこなわれている。その際に学校責任者（校長先生等）の参加があれば話が大変早いのだが、現状参加が無いので話が一向に進む気配が無い。そこは改善すべきなのではないか。（スクールコーディネーターはそこまでの権限は持ち合わせていない）	定員を大きく上回り、新たにスペースが必要と判断した場合は、区が直接学校と協議しています。また、区民の方から学校への要望があれば、区が責任を持ってお伝えし、協議しています。 そのため、運営協議会への学校責任者の出席は考えていません。	質問 一覧表
17 (33)		「居宅訪問型等の利用形態も含めて研究していきます」とあるが、研究成果として、どのような事を具体的に学ばれたのか教えて欲しい。 また、文京区や北区など、すでに居宅訪問型サービスに関して補助を出しているが、そういった他区の状況を把握しているのであれば、その旨共有して欲しい。	病児保育事業に関して、居宅訪問型等の利用形態も含めた研究は、現在、まだ行っていません。 また、他区の実施状況の詳細について、現時点では、特に調査は行っておりません。	質問 一覧表
18 (36)		アプリのダウンロード数と評価について教えて欲しい。 費用対効果が悪いのであれば、アプリの改良もしくは、削除を検討すべきではないか。	アプリのダウンロード数は平成29年9月末現在で、4,624件です。評価については、Google play で2.9でした。 ご意見は参考とさせていただきます。	質問 一覧表
19		学童クラブは保育園と同じく子どもの生活の場である。 育児休業中も保育園同様、利用できるようにすべきと考える。なぜ、同じ保育をする場でこのような格差が生じているのか、明確な理由が知りたい。	学童クラブは、児童館や放課後子どもひろばと併設となっており、日常的に学校の友達と遊べる環境を整えています。そのため、学童クラブを退所しても、児童館等で、学童クラブの友達とも引き続き遊ぶことができます。 育休中は、保護者が自宅にいて、放課後の過ごし方を子どもと相談したり、帰宅時間の約束ができる環境ですが、育休中の受け入れが必要かどうかについては、23区の動向も踏まえて検討していきます。	質問 一覧表

質問 番号	資料 番号	質 問	回 答	回答方法
20		<p>学童クラブ事業者選定のタイムラインについて変更を検討し、新事業者への引継ぎ期間を1年間設けるべきではないか。</p> <p>【背景】新宿区内の学童クラブでは全てが民間委託となり、5年ごとに事業者選定が行われている。</p> <p>しかし、選考・引継ぎのタイムラインが十分に取られておらず、事業者が変わった際の子ども達への影響を考え、事業者の変更に二の足を踏む学童も出てきている。</p> <p>横浜市の保育園の民間移管については、1年を掛け先行し、翌年4月から1年間共同保育を行い保育の継承をし、翌々年の4月から完全移管となっている。</p> <p>区内学童クラブもそのようなタイムスケジュールを進めるべきと考える。</p> <p>過去の事例として、区の勝手な一存で閉所となったせいが学童クラブから落四小内委託事業者のワーカーズへの引継ぎが行われた際、たった10日間しか引継ぎ期間が設けられず、せいが学童で行っていた素晴らしい保育が全く継承されなかったと言う事があった。</p> <p>今後、学童にて事業者の変更が検討されるのは、今現在の事業者が行っている保育の質が低い結果として変更されるが、子ども達にとって緩やかに移行が進められるよう、1年間の移行期間を設けるべきと考える。</p>	<p>2か月間の学童クラブ新事業者の準備委託期間の中で、スムーズな引継ぎが行われており、事業者選定や引き継ぎ期間の変更は考えていません。</p> <p>落合第四小学校内学童クラブについても、2か月間の準備委託期間を設けていました。新宿せいが学童クラブだけでなく、機能拡充した放課後子どもひろば（おちよんクラブ）や放課後子どもひろばを含めた総合的な引き継ぎを行いました。</p>	<p>質問 一覧表</p>